

## ●課題抽出・対策立案

- 抽出基準の改善
- 対策優先候補箇所の抽出

### 第5回 対策優先候補箇所の抽出

#### 第1回から第4回

- 委員会発足
- 対策優先箇所抽出基準検討

	抽出規準内容	閾値
事故特性	死傷事故件数	上位20位
	死傷事故率	上位5位
地域特性	高齢者ドライバー事故率	上位5位
	高齢者弱者事故率	〃
	歩行者事故率	〃
	弱者事故率	〃
	24時間大型車混入率(%)	〃

- 対策優先候補箇所の抽出（45箇所）
- パブコム
- 対策優先箇所の確定・対策検討（47箇所）

- 事故データの更新
- 抽出指標の改善

対策優先箇所の対策効果を踏まえ追加抽出

Plan  
計画



## ●評価結果の反映

- 対策評価結果の検証
- 効果評価結果の公表

- 対策・取り組み評価による今後の取り組みの再整理
- 安全に対する理解を深めるため、各種メディア・組織へ【評価結果】の公表

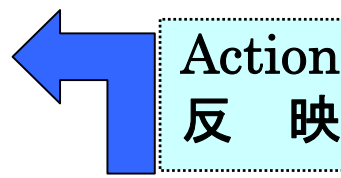
### 記者発表



### 安全教育への活用



Action  
反映



交通安全

Do  
実施



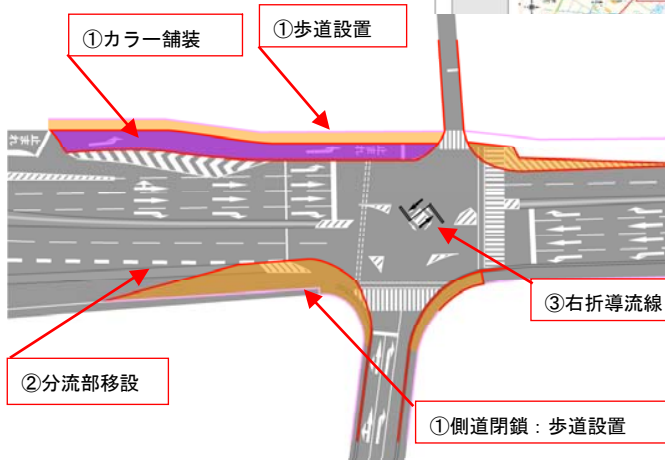
## ●対策・取り組みの評価

Check  
評価

- 対策実施箇所の効果評価

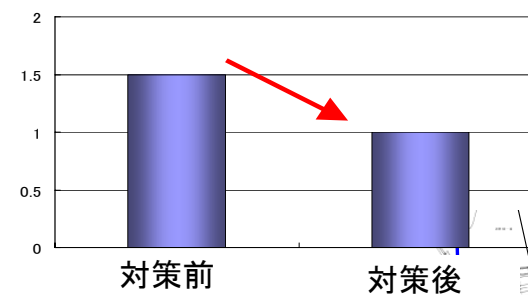
## ●対策・取り組みの実施

H18年  
国：石和橋西交差点等8箇所着手  
県：20箇所着手



実施箇所	実施内容	実施時期	実施状況	効果
①カラー舗装	歩道・車道にカラー舗装を施す	H18年4月～6月	完了	歩行者の歩行誘導が向上し、歩行者の歩行速度が向上した
①歩道設置	歩道を設置する	H18年4月～6月	完了	歩行者の歩行空間が確保され、歩行者の歩行速度が向上した
②分流部移設	分流部を移設する	H18年4月～6月	完了	交通の流れがスムーズになり、渋滞が解消された
③右折導流线	右折導流线を設置する	H18年4月～6月	完了	右折車の歩行誘導が向上し、歩行者の歩行速度が向上した
①側道閉鎖・歩道設置	側道を閉鎖し歩道を設置する	H18年4月～6月	完了	歩行者の歩行空間が確保され、歩行者の歩行速度が向上した

- 対策の効果



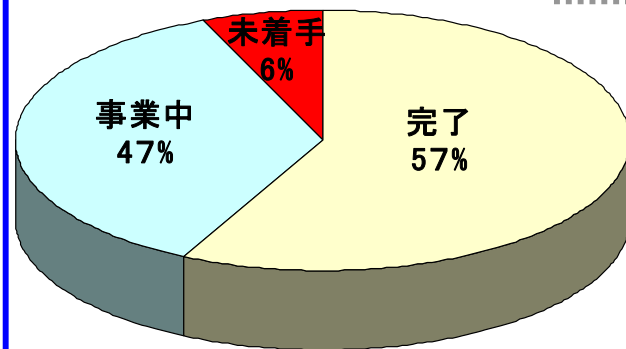
実施箇所	実施内容	実施時期	実施状況	効果
①カラー舗装	歩道・車道にカラー舗装を施す	H18年4月～6月	完了	歩行者の歩行誘導が向上し、歩行者の歩行速度が向上した
①歩道設置	歩道を設置する	H18年4月～6月	完了	歩行者の歩行空間が確保され、歩行者の歩行速度が向上した
②分流部移設	分流部を移設する	H18年4月～6月	完了	交通の流れがスムーズになり、渋滞が解消された
③右折導流线	右折導流线を設置する	H18年4月～6月	完了	右折車の歩行誘導が向上し、歩行者の歩行速度が向上した
①側道閉鎖・歩道設置	側道を閉鎖し歩道を設置する	H18年4月～6月	完了	歩行者の歩行空間が確保され、歩行者の歩行速度が向上した

対策実施状況の確認

■対策実施状況

平成18年度

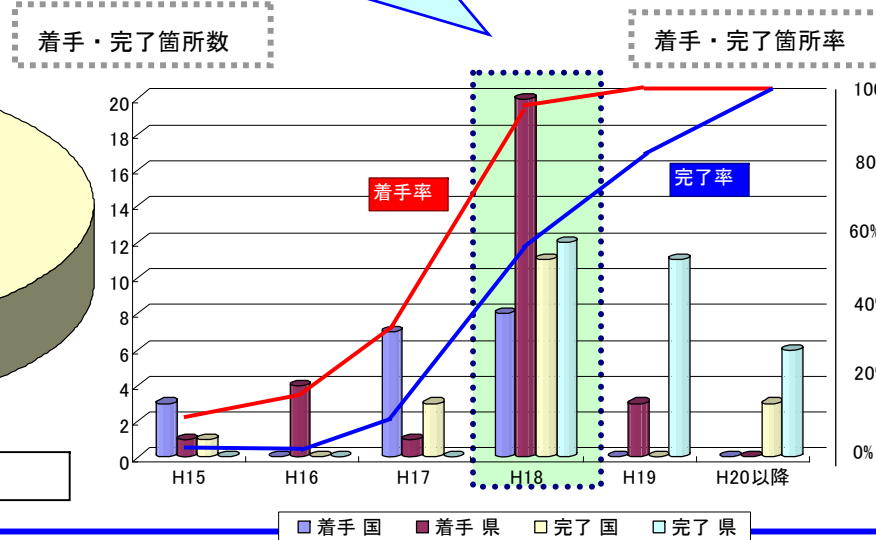
完了予定 : 27箇所  
 事業中 : 17箇所  
 未着手 : 3箇所



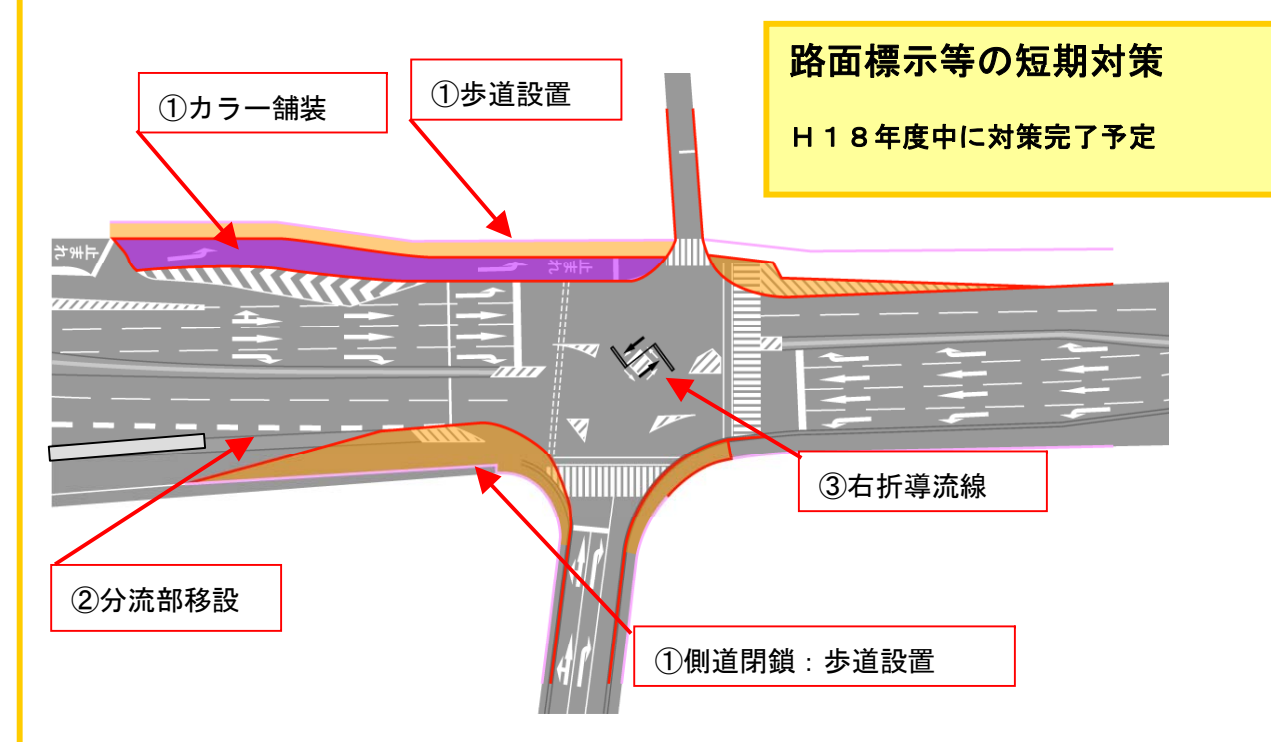
「完了」は18年度末での予定です。

平成18年度

着手状況 : 47箇所中 44箇所 (94%)  
 完了状況 : 47箇所中 27箇所 (57%)  
 未完了状況 : 47箇所中 20箇所 (43%)  
 (用地買収等があるため対策を進めております)



■対策完了箇所事例：見える化1（石和橋西）



路面標示等の短期対策  
 H18年度中に対策完了予定

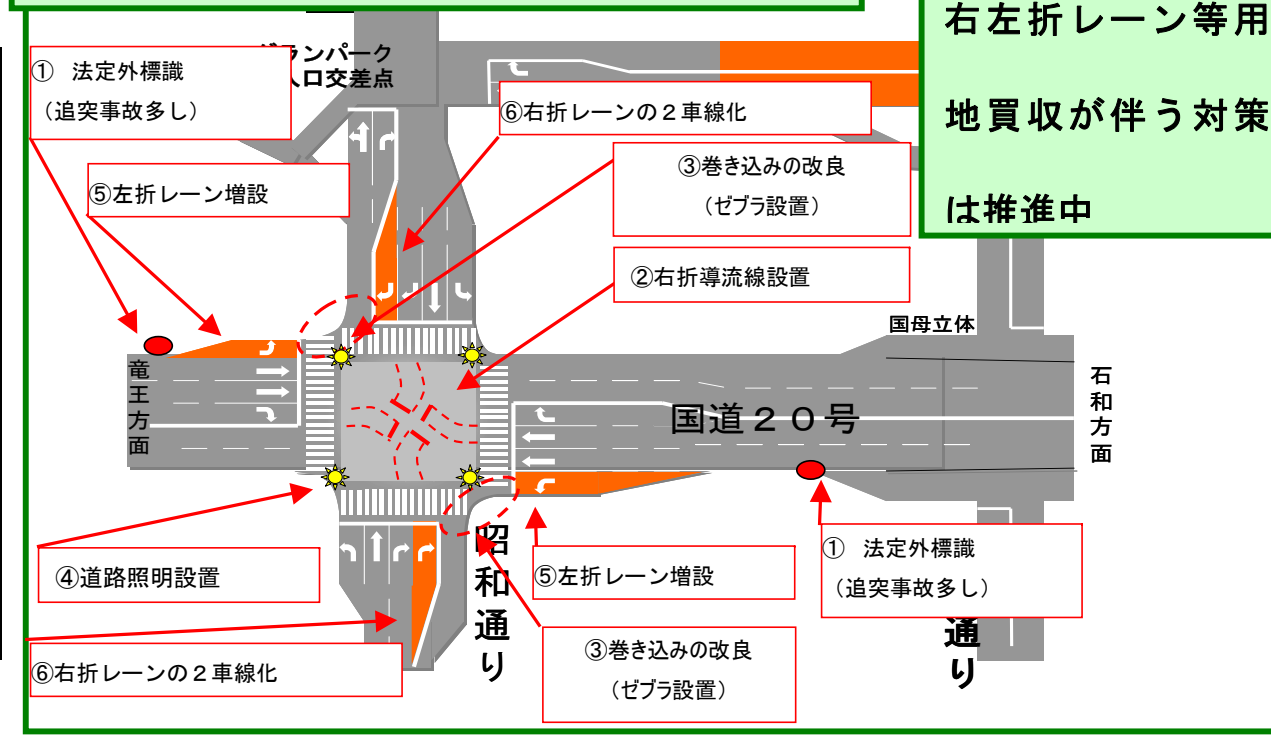
■H18対策実施状況箇所一覧

番号	箇所名	対策内容	対策完了時期						備考
			H15	H16	H17	H18	H19	H20	
1	笛吹市 石和橋西交差点	交差点改良等				○			経過観察
2	甲府市 向町2交差点	右折レーン延伸、道路照明(新設)			○	○			経過観察
3	甲府市中小河原1	減速レーンマーク、路面標示(追突注意)				○			経過観察
4	甲府市 国母立交差点	右折導流线(高輝度区画線)等				○			経過観察
5	甲府市 国母立交差点	法定外標識(追突事故多し)、左折レーンの設置			○			○	経過観察
6	甲府市国母5	路面標示(追突注意)、法定外標識等				○			経過観察
7	甲府市 徳行立交差点	法定外標識、右折導流线、巻き込み改良等				○			経過観察
8	甲府市徳行4	路面標示、舗装改良(車線のカラー化)				○			経過観察
9	甲斐市 竜王立交差点	法定外標識、右折導流线等				○			経過観察
10	甲府市 甲府署前交差点	法定外標識(車両出入り注意)、右折導流標示			○	○			経過観察
37	韮崎市 船山橋北詰交差点	減速路面標示(追突注意)交差点コンパクト化等				○			経過観察
38	北杜市 牧原交差点	法定外標識(速度落とせ)等、右折レーン(新設)			○			○	経過観察
40	山中湖村山中	法定外標識、路面標示	○						効果評価
41	山中湖村山中	法定外標識、路面標示(追突注意)、歩道設置等			○				経過観察
42	鳴沢村7619(天神山入口)	法定外標識、路面標示、歩道設置、交差点改良			○			○	経過観察
43	船津登山道入口交差点	右折レーン(延長・増設)舗装改良、道路照明等	○						効果評価
46	大月市立病院交差点	路面標示(速度落とせ)			○	○			経過観察
47	大月インター入口交差点	法定外標識(右折車両に注意)	○					2	効果評価

効果評価 対策実施後1年以上経過箇所(対策完了がH15,16)  
 経過観察 対策実施後1年未満の箇所(対策完了がH17以後)

○ 実施済み  
 ○ 実施中  
 ○ 未実施

■未完了箇所事例：見える化5（国母交差点）



右左折レーン等用地買収が伴う対策は推進中



対策の効果評価

■効果評価の概要

- ① 対策実施箇所：対策実施前後の事故データにより効果評価  
対策実施後1年に満たない箇所は経過観察
- ② 対策未実施箇所：対策促進
- ③ 全箇所：新たな事故(事故類型、事故発生位置等)について検証

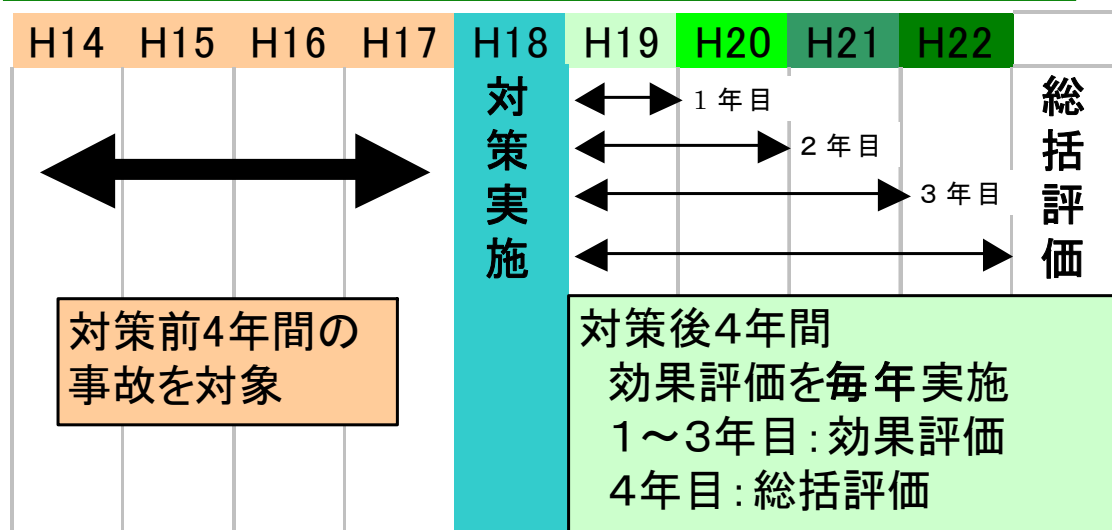
■効果評価の内容

- ① 実施した対策の効果把握  
総事故件数の経年変化や着目事故類型の対策事前事後比較により確認

- 沿道状況や交通流の変化により
- ② 新たな事故(事故類型)が発生していないか?  
事故類型別の経年変化により確認

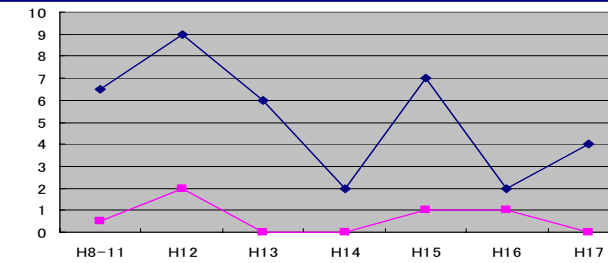
- ③ 事故発生位置に変化がないか?  
発生状況図により事故位置の確認

■対策前後4年間の事故データによる効果評価

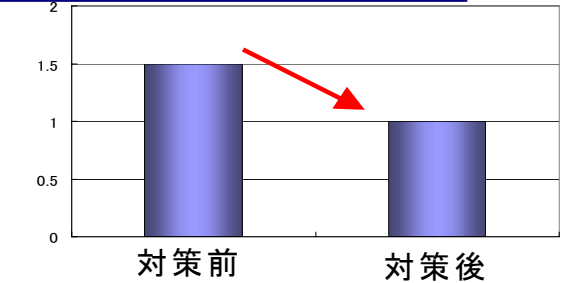


■効果評価イメージ

① 総事故件数や着目事故類型による評価イメージ

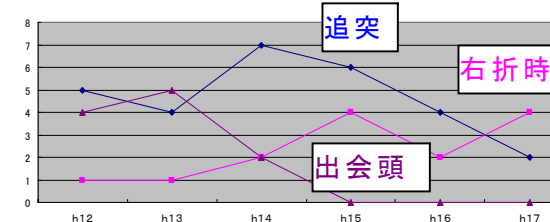


評価：H12の9件/年をピークに、減少傾向にある。



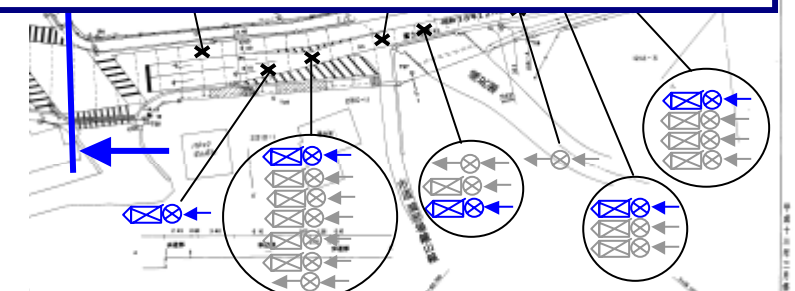
評価：対策による効果が発現している。

② 事故類型別の評価



評価：追突や出会頭が減少しているが、右折時が増加しており、右折時対策が必要。

③ 発生状況図による事故発生位置確認



評価：追突事故が、まだまだ発生しているが発生位置の変化は見られない。

■カルテによる個別評価

交通安全見える化プラン 1 石和橋西交差点

交通安全見える化プラン 43 船津登山道入口交差点

事故発生時刻	事故発生時刻	事故発生時刻	事故発生時刻
H17まで	H17	H18	H19

対策の概要

効果評価

■ 評価結果の反映

・ 対策・取り組み評価による今後の取り組みの必要性

(例 1)

- ・ 山梨県事故対策優先箇所（1）は対策効果の発現が確認された。  
→ 経過観察を継続

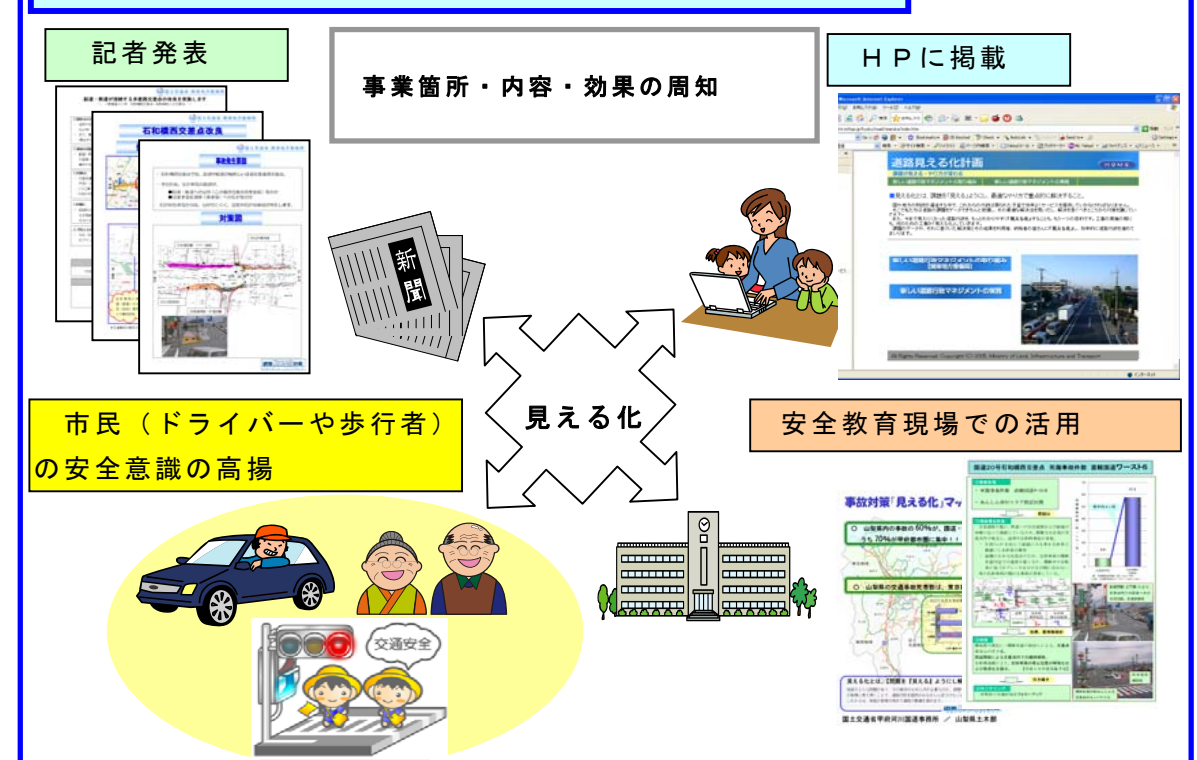
(例 2)

- ・ 山梨県事故対策優先箇所（2）は対策実施箇所付近にて新車の事故が確認された。  
→ 追加対策を検討

■ P D C A 各段階での公表を実施

計画段階(Plan)	箇所選定方法・対策箇所・安全対策の公表
実施段階(Do)	対策実施箇所の公表
効果評価段階(Check)	効果評価結果の公表
反映段階(Action)	対策・取り組み評価による今後の取り組みの再整理、新たに発生した課題への対策立案等の公表

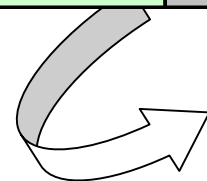
■ 各種媒体への公表および目的



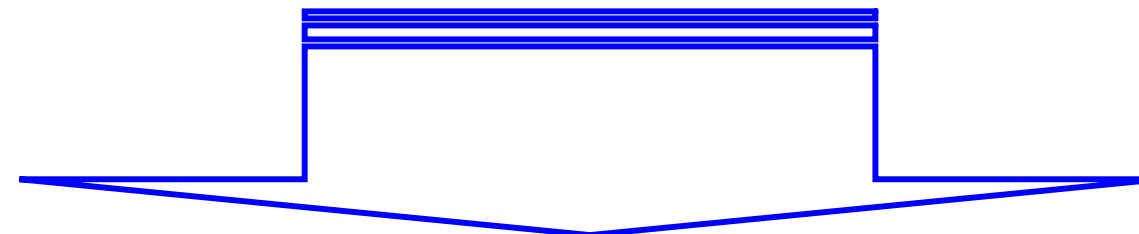
●PDCAサイクルを繰り返していく中で、今後予想される課題および対応の整理

H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
箇所選定	対策実施	経過観察	効果評価 (1年目) H19事故 データ	効果評価 (2年目) H19-20事故 データ	効果評価 (3年目) H19-21事故 データ	総括評価 (4年目) H19-22事故 データ

○総括評価  
実施した対策の効果を4年間の事故により検証することを基本とする



**●対策優先候補箇所の抽出**  
事故データの更新、抽出指標の改善に基づく『対策優先候補箇所』の抽出  
→ 対策優先箇所の対策効果を踏まえて、  
追加選定



**●早期判定手法検討**

事故データは、1年毎の更新のため、評価に年単位の時間が掛かる  
→短期的な効果の把握が必要  
→交通挙動（速度超過・錯綜）等による早期判定手法の導入検討

**●追加対策検討**

経過観察や効果評価により、対策実施箇所にて、新手の事故発生が確認された場合、  
→追加対策の検討  
【背景】  
上記では、評価期間が長期になるため、沿道環境やネットワークの変化が予想される。

**●総括評価**

対策効果が発現した箇所  
→経過観察は継続するものの、対策完了とする。  
  
対策効果が見られない箇所、  
● 対策内容について  
① 抜本的対策の見直し  
② ITS等の新規事故対策手法の導入検討  
③ ドライバーや歩行者への交通安全意識向上策強化検討  
  
● 評価指標について  
事故件数に変わる、道路ユーザーのあんしん感向上（ひやり度の低減）等の評価指標の検討

事故対策の実施及び対策後の事故データ等を踏まえ、PDCAサイクルに基づき箇所の選定を行う。

